



## 令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本金属株式会社

コード番号 5491 URL <https://www.nipponkinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 下川 康志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 丸山 尚之 TEL 03-5765-8105

四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	11,495	△7.9	302	△61.3	347	△58.8	208	△63.9
31年3月期第1四半期	12,480	4.7	781	△8.1	844	△3.3	577	△19.9

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 124百万円 (△78.6%) 31年3月期第1四半期 579百万円 (△21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	31.19	ー
31年3月期第1四半期	86.30	ー

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第1四半期	61,919	21,137	34.1	3,157.42
31年3月期	61,885	21,214	34.3	3,168.86

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 21,137百万円 31年3月期 21,214百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	ー	0.00	ー	30.00	30.00
2年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2年3月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和2年3月期の配当金額については未定であります。

### 3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

令和2年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では当社として合理的な算定・予想を行うことができないため、記載は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期1Q	6,700,000株	31年3月期	6,700,000株
② 期末自己株式数	2年3月期1Q	5,439株	31年3月期	5,439株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期1Q	6,694,561株	31年3月期1Q	6,694,573株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 経営成績に関する説明 .....	2
	(2) 財政状態に関する説明 .....	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間 .....	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間 .....	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
	(継続企業の前提に関する注記) .....	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足下では緩やかな回復が継続しているものの、輸出や生産に鈍化の兆候が見られ、製造業の停滞感が強まっています。また、海外におきましては、保護主義的な通商政策や中国の景気減速など、先行き不透明な状況が続いております。

ステンレス業界におきましては、需要の鈍化や供給過剰などが懸念されるとともに、副資材や物流費など諸コストの上昇が続いており、厳しい調達環境も継続しています。

このような状況で当社グループは、第10次中期経営計画の最終年度を迎え、成長製品の拡販や新技術・新商品の開発に注力すると共に、引き続き生産効率の改善に取り組み、また、営業面では原材料価格動向の販売価格への適時な是正に努めてまいりましたが、中国の景気減速に伴う需要減などの影響を避けられませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間と比べて985百万円(7.9%)減収の11,495百万円となりました。損益面につきましては、みがき帯鋼事業における自動車関連用途での高収益品の販売が減少したことなどにより、前年同四半期連結累計期間と比べて、営業利益は478百万円(61.3%)減益の302百万円となり、経常利益は496百万円(58.8%)減益の347百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は368百万円(63.9%)減益の208百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① みがき帯鋼事業

みがき帯鋼事業におきましては、国内向けの自動車用光モールド向けステンレスや刃物向けみがき特殊帯鋼などが前年同期と比べて増販したものの、中国の景気減速の影響などを受け、海外向けの自動車用光モールド向けステンレスや自動車部品向けみがき特殊帯鋼製品の販売が減少したことなどにより、前年同四半期連結累計期間と比べて、売上高は1,064百万円(10.6%)減収の9,016百万円となり、営業利益は458百万円(53.9%)減益の392百万円となりました。

#### ② 加工品事業

加工品事業におきましては、自動車駆動部品用高精度異形鋼の安定した成長が継続していることや、文具向けのファインパイプが新製品向け、既存製品向け共に増販したことなどもあり、前年同四半期連結累計期間と比べて、売上高は79百万円(3.3%)増収の2,479百万円となり、営業利益は微増の191百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ33百万円増加の61,919百万円となりました。

流動資産は、177百万円増加の30,756百万円となりました。これは主に、売上減により受取手形及び売掛金が63百万円、電子記録債権が158百万円それぞれ減少し、現金及び預金が212百万円減少したものの、たな卸資産が合計で686百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、144百万円減少の31,162百万円となりました。これは主に、無形固定資産が52百万円増加したものの、有形固定資産が57百万円減少し、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が144百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ109百万円増加の40,781百万円となりました。

流動負債は、1,173百万円増加の25,604百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

固定負債は、1,063百万円減少の15,176百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、76百万円減少の21,137百万円となりました。これは主に、その他の包括利益累計額に含まれるその他有価証券評価差額金が103百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の34.3%から0.2ポイント低下し、34.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の連結業績予想につきましては、上述のとおり、中国の景気減速などの影響が不透明な状況が続いており、現時点で当期の業績予想を合理的に算出することは困難であり未定といたしました。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,423	6,210
受取手形及び売掛金	9,258	9,195
電子記録債権	4,656	4,498
商品及び製品	4,636	4,812
仕掛品	4,219	4,668
原材料及び貯蔵品	1,064	1,125
その他	324	248
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	30,578	30,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,601	3,574
機械装置及び運搬具(純額)	6,885	6,800
土地	16,258	16,259
その他(純額)	1,317	1,370
有形固定資産合計	28,063	28,005
無形固定資産	75	128
投資その他の資産		
投資有価証券	2,179	2,034
その他	1,029	1,034
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	3,168	3,029
固定資産合計	31,306	31,162
資産合計	61,885	61,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,060	12,413
短期借入金	8,880	9,858
賞与引当金	437	148
返品調整引当金	51	51
環境対策引当金	11	15
その他	2,990	3,117
流動負債合計	24,431	25,604
固定負債		
長期借入金	10,397	9,334
再評価に係る繰延税金負債	3,041	3,041
退職給付に係る負債	2,402	2,420
環境対策引当金	30	26
その他	368	352
固定負債合計	16,239	15,176
負債合計	40,671	40,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	6,663	6,671
自己株式	△10	△10
株主資本合計	14,497	14,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	707	604
土地再評価差額金	5,998	5,998
為替換算調整勘定	139	158
退職給付に係る調整累計額	△129	△129
その他の包括利益累計額合計	6,717	6,632
純資産合計	21,214	21,137
負債純資産合計	61,885	61,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	12,480	11,495
売上原価	10,336	9,825
売上総利益	2,143	1,669
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	304	303
役員報酬及び給料手当	576	581
賞与引当金繰入額	37	35
退職給付費用	25	38
減価償却費	47	46
その他	369	362
販売費及び一般管理費合計	1,361	1,366
営業利益	781	302
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	37	37
受取賃貸料	19	10
為替差益	13	16
その他	26	12
営業外収益合計	98	77
営業外費用		
支払利息	26	25
その他	8	7
営業外費用合計	35	32
経常利益	844	347
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	0	10
会員権評価損	1	1
その他	0	—
特別損失合計	1	12
税金等調整前四半期純利益	844	335
法人税、住民税及び事業税	181	85
法人税等調整額	84	40
法人税等合計	266	126
四半期純利益	577	208
親会社株主に帰属する四半期純利益	577	208

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純利益	577	208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△103
為替換算調整勘定	△30	18
退職給付に係る調整額	18	0
その他の包括利益合計	2	△84
四半期包括利益	579	124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	579	124
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。